

# 自由民主党 大阪府議団だより

幹事長

令和5年3月議会において

## 原田りょう 府議が

吉村知事に代表質問 ～2時間半にもわたり徹底議論～

### Profile

昭和61年8月23日生まれ36歳 二児の父、子育て奮闘中！／私立智辯学園高等学校卒業／大阪大学法学部法学科卒業／被災支援団体ACTION代表(現在、防災士)／衆議院議員事務所勤務／箕面市議会議員(全国最年少25歳で当選)／大阪府議会議員(全国都道府県議会議員最年少28歳で当選)現在2期目／自民党大阪府議会議員団幹事長(歴代最年少33歳で就任)／(一社)箕面青年会議所理事長などを歴任 ※原田りょうは家系に政治家はおらず、一代で議員になった叩き上げ

箕面市・豊能郡選出(定数2→1へ！)

ご挨拶

### 皆さんのお力になりたい ～誰よりも動く～

原田りょうは皆さんの温かいご支援のおかげで2期8年大阪府議会議員として務め、今では大阪府議団の幹事長という大きな力を与えていただき、知事とも是非々で様々な大阪発展のための取り組みを進めてきました。この間、皆さんから府民相談をいただいた際にはすぐに対応することを心掛け、1,750件(令和5年3月1日現在)以上の様々なお困りごとを解決してきました。

### 豊能町は府議の定数が2⇒1に～

自民党大阪府議団として、他党派とも共同で大阪府議会の議員定数削減条例を提案し可決されました。これにより、この箕面市・豊能郡選挙区では、定数が2人⇒1人に削減され1人しか大阪府議会議員が誕生しないようになりました。原田りょうは、もう1人の府議の辞職に伴い、既にこの間ずっと1人で箕面市、豊能町、能勢町の皆さんの相談事に対応してきました。たくさんのご相談をいただき仕事量は多いですが、なんとか対応できており、何よりも徹底した議会改革・財政改革が必要との思いから、自ら進んで身を切り、議員定数削減を率先して進めました。これからも、皆さんに寄り添って誰よりも働いてまいります。

## 大阪府はもちろんのこと、国とも連携し豊能町の人口減少対策を進める！

### Q 原田議員

全国的に人口減少が進む中、令和4年4月に豊能町と能勢町が新たに過疎地域として公示された。両町は、昨年9月に過疎地域持続的発展計画を策定し、今後は同計画に基づき、移住・定住の促進をはじめ、産業振興などの取り組みを進めていくが、大阪府としても過疎地域となった両町を力強く支援していくべき。

### A 市町村局

大阪府で過疎地域に既に指定されている千早赤阪村や岬町の事例等を踏まえ、過疎法に基づく特別措置を最大限活用することで、過疎地域における持続可能な地域社会の形成や地域活力のさらなる向上が実現されるよう、豊能町と能勢町を積極的に支援してまいります。

### ⇒過疎地域の指定を受けた豊能町へ大阪府の積極的な支援を実現！

#### 国へ要望！

先日、岡田直樹地方創生担当大臣に豊能町に視察へお越し頂き、私もこの間力を注いできました大阪府による豊能町のスマートシティ事業や光風台中央公園を、地方創生やデジタル田園都市国家構想の先進的取組としてご覧頂きました。今後も豊能町の人口減少対策にお力添え下さるとの力強いお言葉も賜りました！

※光風台中央公園は豊能町の負担なく、全額、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して新しくリニューアルオープン！



▲岡田直樹地方創生担当大臣と意見交換

## 豊能町のスマートシティ化を大阪府としてさらに進める！

### Q 原田議員

豊能町ではデジタル技術を活かして住民の暮らしを豊かにする取組として、子育て世帯や高齢者に対する様々なサービスを、スマートフォンから手軽にアクセスできる「とよのんコンシェルジュ」のアプリが広がりを見せている。これは大阪府のスマートシティ戦略部が公民連携のコンソーシアムとして一昨年に設置した『大阪スマートシティパートナーズフォーラム』の産官学連携のプロジェクトで、今後も住民の利便性を向上させる多様なサービスが展開されていく。大阪府としてもさらなる支援をしていくべき。

### A スマートシティ戦略部

豊能町のようにデジタル化が先行している市町村が、さらに次のステップへ進んでいけるように、例えば現在構築中の「大阪広域データ連携基盤【ORDEN】」を使って、データを活用した住民一人一人への最適なデジタルサービスが展開できるインフラを提供していくなど、多様な手法で、豊能町の支援を進めてまいります。

### ⇒原田りょうが進めてきた大阪府による豊能町のスマートシティ推進を今後も加速！

#### 国へ要望！

河野太郎デジタル大臣とも意見交換をさせていただき、豊能町の先進的なデジタル化の取り組みを国としてもしっかりと支援していただくようにお力添えをいただいています。



▲河野太郎デジタル大臣と意見交換

## 大阪府の補助金でAIオンデマンド交通実証実験を実現！

大阪府の補助金を活用し、AIオンデマンド交通『HANI+（ハニタス）』の運行による実証実験が2月に実現しました。今後、今回の実証実験を通じて回収したアンケート等を基に検証し、次の展開に繋げていきます。豊能町の課題は、ご高齢の方々や子育て中の皆さんの交通手段の確保。今後もスマートシティの取り組みや、こうした国や府の補助金を活用した課題解決に向けて尽力していきます！

### ⇒原田りょうも強い働きかけを行い、「大阪府AIオンデマンド交通モデル事業費補助金」に豊能町の採択が決定！



## 原田りょう 最後の府政報告会

日時 3月19日(日) 18:00～

場所 豊能町立西公民館 2階大会議室(光風台5-1-2)

お申込み不要です。原田りょうの任期中最後の訴えや政策をぜひお聞きください！



## 牧地区・高山地区で進む農地集約化!

農地中間管理機構が借り入れている農地を対象に、農家の皆さんの費用負担なく、農地整備(ほ場整備)を行う事業を実施しています。今までは大阪府の負担率が低く、豊能町の負担が大きかったので実現できませんでした。

⇒原田りょうが大阪府議会で繰り返し質問し、大阪府の支出割合が増え、豊能町の負担が大きく軽減し、事業が進展!

※大阪府の補助率が15%⇒27.5%へ増加!(豊能町の負担は22.5%⇒10%へ減少!)

これにより、一体いくら、豊能町の負担を軽減できたか大阪府に試算してもらいました。

### 牧地区

現在計画中の牧地区のほ場整備事業の概算事業費:5.3億円  
町負担は12.5%の減になるので、 $5.3億円 \times 12.5 / 100$   
=66,250,000円の減

### 高山地区

現在計画中の高山地区の事業費:2.9億円  
町負担は12.5%の減になるので、 $2.9億円 \times 12.5 / 100$   
=36,250,000円の減



⇒あわせて1億円以上の豊能町の財政削減を実現! 今後も、農業の担い手不足や遊休農地の解消を進めてまいります。

## 豊能町を前へ進める!

- 1 若い子育て世帯やコロナ禍でリモートワークが進む地方移住者を呼び込み、人口減少を必ず食い止める!
- 2 新名神ICに近い好立地を生かし、農地や市街化調整区域を企業用地に転用して、企業誘致を実現!さらにグリーンロードの値下げを進める!
- 3 防災士・被災地支援団体代表としての経験と知識を活かし、災害に強いまちづくりを進める!
- 4 2025年大阪・関西万博で地元産品を使ってもらい、豊能町のPRと農業支援を進める!
- 5 ダイオキシン問題解決に向け、府の職員派遣や国の特別交付税獲得を通じて、早期解決に尽力する!

⇒府議会2期8年の実績と経験がある「原田りょう」だからできる!

## 自民党府議団は批判ではなく、提案。毎議会、新提案。

# 1

私立高校授業料は「所得制限なし」で「府外」も含めて「完全無償化」を!

↳ 自民党府議団が条例改正案を提出!

# 2

カジノを含むIRは「住民投票」で民意の反映を!

↳ 自民党府議団が「知事選と同日に住民投票を行う」条例案を提出するも、大阪維新の会が反対!

# 3

18歳以下の子どもにお米10キロ!? 結局どうなった?

府民の関心が高いこの事業の予算は、「物価高騰対策」として国から地方に給付される臨時交付金を活用しています。使い道は一定程度決められているものの、詳細な取り組みは地方自治体に委ねられています。ちなみに、対象者は府内約139万人で事業費は約76億円。

「お米10キロ」の配布から、二転三転、紆余曲折しましたが……

**これまでの経緯** 当初、吉村知事が「お米10キロ」の配布を表明。

### 自民党府議団は…

ギフトカードや物品配布には、多額の事務費(事業費76億円のうち事務費は7億円)が必要。そのため、お米ではなく、市町村が給付する「児童手当に上乘せ」(16~18歳や児童手当不支給世帯は別途対応)するなど、「現金給付」を主張!

**しかしながら…** 知事は「現金給付にすると、親が遊興費に使う」として「お米10キロ」の配布にこだわる。

### 自民党府議団は…

現金給付がダメなら、せめて「お米だけではなく、幅広く食料が選べるように!」と要望!

**その結果** お米以外にも幅広く食料を選択できる案を大阪府が提案。

**その後** お米の購入希望者には「お米券」を配布すると知事が表明。

### 自民党府議団は…

府内の米穀店などには、「お米券」を利用できない店舗が多数あることを指摘!

### 最終的には

府は「お米券」を取りやめ、地域でも使える「デジタルお米クーポン」を取得するか、大阪府が設置する特設サイトから各食品を選択・配送することに。なお、3月22日から申請を開始し、対象者には府のホームページから申し込みが必要で、販売店も登録が必要。

### 府議会では詳細な審議を他会派が拒否!

府議会では議案を採決したものの、76億円の予算案にもかかわらず、詳細な審議を行う委員会付託を他会派がなぜか拒否!十分な審議がないままの可決となったため、議会閉会後直ちに吉村知事に対して緊急要望!

### 緊急要望を踏まえて

お申し込みはこちらから

対象者への周知徹底や「デジタルお米クーポン」の理解促進が徹底されるほか、大阪産(もん)などの府内産品やアレルギー体質などの子どもに対応した品揃えが行われることに。



何かお困りごとございましたら遠慮なくご相談ください。  
原田りょうは皆さんのお力になります!!

TEL 072-722-7200

(9時~17時の間にお電話ください)

今、皆様がお困りの地域のことや行政のこと、不安なことやどこに相談したらよいのかわからないことなど、何かございましたらなんでもご相談ください。原田りょうが皆様に寄り添い、どんなことでもすぐに対応いたします。

LINE

本人直通  
24時間  
相談可能



Mail

info@haradaryo.net